

委員会活動報告書

委員長 坪川トモ子

【委員会名】	国家試験委員会
【メンバー】	○大西真由美(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) ¥大谷喜美江(日本赤十字豊田看護大学看護学部) 齋藤公彦(福山平成大学看護学部) ◎坪川トモ子(新潟青陵大学看護学部) 播本雅津子(名寄市立大学保健福祉学部)
	50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名
【活動方針】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎年の保健師国家試験の出題内容に関する意見をとりまとめ、国に意見書を提出する。 2. 保健師国家試験の質向上に向け、現行出題基準の点検・評価を行う。 3. 国家試験問題作成のための研修会を実施し、教員の問題作成、クリティーク、ブラッシュアップできる力を育成する。 <p><数値目標> 国家試験アンケート回収率</p>
2019(令和元)年度	
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Web調査による第106回保健師国家試験に係る問題内容調査を会員校の協力を得て、国家試験問題の適正化改善に寄与する。 2. 学校別保健師国家試験合格率の推移等など国家試験対策の基礎資料を蓄積していく。 3. 2019年の夏期研修の分科会の実施、及びブロックからの国家試験に関する研修依頼に随時対応し、会員校教員の問題作成の力量アップを図る。
活動報告	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第106回保健師国家試験の出題内容に関する会員校調査実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・参加は78校(35.1%)であり、5年ぶりに40%を下回る低い参加率であった。結果の分析結果を踏まえ、厚生労働省看護課長に要望書を提出した(2月)。 ・出題内容調査で推奨している複数校によるチーム参加は、東北ブロックから2チーム(16校、4校)の参加をいただいた。 2. 保健師国家試験合格状況は養成課程別の分析をし保健師貴基礎教育や養成を検討する基礎資料とした。 3. 夏季研修の分科会の企画実施し、45名の参加を得て、国家試験問題作問演習を通して教育への課題を検討し合った。 4. 保健師国家試験出題基準の見直しに係る調査の実施(追加) <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度に厚生労働省で予定されている保健師国家試験出題基準の見直しに合わせて、本協議会として意見書の基資料とするために3月に実施した。回答状況:40校(18.5%) 5. 保健師助産師看護師国家試験評価改善事業(厚労省)の受託実施(追加) <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省からの委託を受け、保健師助産師看護師国家試験の過去の問題について、情報量、内容に関する評価を行った(3月)。